

2026年6月8日

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

2026年6月8日の
ティー・ロウ・プライスグローバル・テクノロジー株式ファンドの
基準価額の変動について

2026年6月8日、ティー・ロウ・プライス グローバル・テクノロジー株式ファンドの基準価額が前営業日比で大幅に下落したことを受け、基準価額の主な下落要因と今後の見通しおよび運用方針についてお知らせいたします。

【基準価額の騰落率】

ファンド名	2026/6/5 の 基準価額	2026/6/8 の 基準価額	前営業日比	前営業日比 騰落率
A コース (為替ヘッジあり)	15,794 円	14,783 円	▲1,011 円	▲6.40%
B コース (為替ヘッジなし)	30,385 円	28,482 円	▲1,903 円	▲6.26%

【市場環境】

マーケット指標	2026/6/4	2026/6/5	騰落率
MSCI オール・カンントリー・ワールド情報技術インデックス (税引前配当込み、米ドルベース)	1,738.90	1,645.14	▲5.39%

為替レート (対円)	2026/6/5	2026/6/8	騰落率
米ドル	160.040 円	160.380 円	+0.21%

出所：ファクトセット

【基準価額の下落要因】

2026年6月5日の世界テクノロジー株式市場は、大きく下落しました。同日に発表された5月の米雇用統計では、非農業部門雇用者数が前月比17.2万人増と市場予想を大幅に上回り、失業率も4.3%で横ばいとなるなど、労働市場の底堅さが示されました。これを受けて、市場では米連邦準備制度理事会（FRB）による利下げ期待が後退し、年内の利上げ観測が高まりました。その結果、米長期金利が上昇し、将来の成長期待を織り込んできたテクノロジー関連銘柄やAI・半導体関連銘柄に対する割高感が改めて意識されました。加えて、中東情勢を巡る不透明感もリスク回避姿勢を強める一因となりました。堅調な米景気指標がインフレ再燃や金利高止まりへの警戒につながり、地政学リスク要因が重なったことで、特に金利感応度の高いテクノロジー、AI、半導体関連の銘柄に売りが集中し、これまでの上昇を主導してきたセクターほど大きく調整する展開となりました。

当ファンドの組入銘柄では、アドバンスト・マイクロ・デバイセズ（AMD）、インテル、ラム・リサーチ、ブロードコムなどの株価が下落し、基準価額のマイナス要因となりました。



【今後の見通しおよび運用方針】

今回のテクノロジー関連銘柄を中心とした下落は、これまで順調に上昇してきた AI・半導体関連銘柄の過熱感に対する調整の側面が強いと考えられます。その為、当運用チームは AI が引き続き長期的な投資テーマであることに変わりはないと考えています。中東情勢などの地政学リスクもインフレ懸念を強め、市場心理を圧迫する要因ですが、AI の投資サイクルを大きく変えるほどの影響を与えるものではないと見ています。反対に、これまでの AI 投資テーマが崩れるとすれば、半導体や AI インフラには付加価値が残らず、現在 AI による代替が懸念されて落ち込んでいるソフトウェア関連企業が AI 分野での主役になる展開などが予想されますが、足元ではその可能性は低いと考えています。

ポートフォリオ構築においては、AI 関連の設備投資の動向を注視しながら、長期的に業績成長が期待できる銘柄に投資しています。また、下落に対する耐性を意識し、少数の銘柄に過度に集中することなく、個々の銘柄が持つテーマやビジネスモデルの分散を図るとともに、日本を含むアジアや欧州などの世界各地から、有力なテクノロジー銘柄への投資機会の発掘を行っています。

今後も 90 年近くに及ぶ成長株投資の伝統と世界中に広がる株式調査網を活用し、柔軟かつ機動的ながら規律ある銘柄選択・ポートフォリオ運営を継続し、①経済活動において根幹となる非常に重要な技術（リンチピン・テクノロジー*）を提供し、②長期的に持続的成長が見込まれる市場で革新性によってシェアを拡大し、③売上の加速や利益率の改善がみられ、④バリュエーションが合理的な銘柄の発掘を進めてまいります。

*車軸から車輪が外れないようにするためのピン、輪留めのこと。比喻として物事における最も重要な部分や根幹を指します。

以上

当資料に関する留意点

- 当資料は、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社が作成したお客様向け資料であり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づき作成しておりますが、情報の正確性あるいは完全性について保証するものではありません。
- 当資料における見解等は資料作成時点のものであり、将来事前の通知なしに変更されることがあります。また、当資料で示したデータ等は、情報提供を目的として掲載したものであり、将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、お客様の資産が当初の投資元本を割り込み損失が生じることがあります。
- ご購入の際は投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめまたは同時にお渡ししますので、必ずお受け取りのうえ、内容をよく読み、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は、預金や保険契約ではありません。また、預金保険機構や保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。購入金額については、元本および利回りの保証はありません。銀行等の登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。
- 著作権はティー・ロウ・プライスに帰属します。「T. ROWE PRICE」、「INVEST WITH CONFIDENCE」、大角羊（ビッグホーン・シープ）のデザイン等（troweprice.com/ip参照）は、ティー・ロウ・プライス・グループ・インクの商標です。その他全ての商標は、それぞれの所有者の所有財産です。ティー・ロウ・プライスと商標所有者との承認、出資、提携を示唆するものではありません。
- 当資料はティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社の書面による同意のない限り他に転載することはできません。

投資信託に係るリスク

- 投資信託は**預貯金と異なります**。投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。
- 投資信託の運用による**損益はすべて投資者のみなさまに帰属します**。したがって、投資者のみなさまの**投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります**。



- 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、投資に当たっては投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

投資信託に係る費用

投資信託の投資者が負担する費用には以下があります。

投資者が直接的に負担する費用：

- 購入時手数料：上限3.3%（税抜3.0%）
- 信託財産留保額：ありません。

投資者が信託財産で間接的に負担する費用：

- 運用管理報酬（信託報酬）：上限年率1.793%（税抜1.63%）
- その他費用：法定書類等の作成等に要する費用、監査費用、計理業務、組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用等があります。運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を表示することはできません。

上記の手数料・費用等の合計額については、投資者が投資信託を保有する期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ご注意：上記に記載しているリスクや費用項目は、一般的な投資信託を想定しており、費用の料率は、ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社が運用する全ての公募投資信託のうち、投資者のみなさまにご負担いただく各費用における最高の料率を記載しております。リスクや費用は投資信託ごとに異なりますので、詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。

当資料で使用している指数について

- MSCI オール・カンントリー・ワールド情報技術インデックス：出所 MSCI。MSCI およびその関連会社、並びに第三者の情報源および提供者（まとめて「MSCI」）は、本稿に記載される MSCI のデータに関して、明示的または暗黙的に関わらず、いかなる保証や表明は行わず、一切の責任を負いません。MSCI のデータは、その他の指数や証券、金融商品の基準としての更なる再配布や使用が禁止されています。本資料は、MSCI によって承認、審査、発行されたものではありません。過去の MSCI のデータおよび分析は、将来のパフォーマンスの分析、見通しまたは予測を示唆または保証するものではありません。いずれの MSCI のデータも、投資判断のための投資アドバイスや推奨を目的とするものではなく、投資アドバイスや推奨として依拠してはなりません。

- 金融データと分析の提供はファクトセット。Copyright 2026 FactSet. すべての権利はファクトセットに帰属します。

ティー・ロウ・プライス・ジャパン株式会社

商号等：金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 3043 号

加入協会：一般社団法人 資産運用業協会／一般社団法人 第二種金融商品取引業協会

202606-5557918